計算書における項目	記号	記号の説明
3.4.たる木・母屋・根太・他の設計	Zb	地表面粗度区分に応じて定められる数値
	ZG	地表面粗度区分に応じて定められる数値
	α	地表面粗度区分に応じて定められる数値
	V0	令87条2項及び建告1454号第2で定められる風速
	H	建物高さ（建物の高さと軒高との平均）
	Gf	ｶﾞｽﾄ影響係数（地表面粗度区分に応じて定められる数値）
	H'	ＨとＺｂを比べて高い方の数値
	Er	平均風速の高さ方向の分布を表す係数
	E	令87条2項及び告示第1454号第１に定める方法で算出する数値
	q	速度圧
3.4.2.部材の設計	L	部材の水平方向距離　(cm)
	L1	部材実長　(cm)
	w	当該部材が負担する幅　(cm)
	ωg0	当該部材にかかる固定荷重　(N/m^2)
	ωp0	当該部材にかかる積載荷重　(N/m^2)
	I0	当該部材の断面二次モーメント　(cm^4)
	Z0	当該部材の断面係数　(cm^3)
	A0	当該部材の断面積　(cm^2)
	I	当該部材の断面二次モーメント　(cm^4)
	Z	当該部材の断面係数　(cm^3)
	A	当該部材の断面積　(cm^2)
	Fb	当該部材材料の基準曲げ強度　(N/mm^2)
	Fs	当該部材材料の基準せん断強度　(N/mm^2)
	Eb	当該部材材料のヤング係数　(N/mm^2)
	q	3.4で算出した速度圧
	c	風力係数
	ωg	部材検定用固定荷重　=ωg0×w　(N/cm)
	ωp	部材検定用積載荷重　=ωp0×w　(N/cm)
	ωw	風圧荷重（N/m）
	lωs	長期積雪荷重（単位長さ当たり）
	sωs	短期積雪荷重（単位長さ当たり）
	fb	木材の許容曲げ応力度　(N/mm^2)
	fs	木材の許容せん断応力度　(N/mm^2)
	ω	設計荷重　(N/cm)
	M	当該部材に発生する曲げモーメント（N·cm）
	Q	当該部材に発生するせん断力（N）
	σ	当該部材断面に発生する断面曲げ応力度　(N/cm ^2)
	τ	当該部材断面に発生する断面せん断応力度　(N/cm ^2)
	δ	当該部材に発生するたわみ量　(cm)

3.6.基礎の設計	ΣW	建物総重量　(kN)
	W1	１階床重量　(kN)
	fe	地盤支持力　(kN/m^2)
	A	基礎版面積　(m^2)
	Wt	基礎立ち上がり部重量　(kN)
	Ws	スラブ重量　(kN)
	WL	積載荷重　(kN)
	t	底板厚　(cm)
	n	安全率
3.6.1地盤支持力の検討	ω0	支持力　算定用分布荷重　(kN/m^2)
	ω1	スラブ　配筋算定用分布荷重　(kN/m^2)
	ω2	地中梁配筋　算定用分布荷重　(kN/m^2)
3.6.2スラブの配筋	lx　(=Lx)	立ち上がりで囲まれた当該べた基礎区画の短辺長さ　(m)
	ly　(=Ly)	立ち上がりで囲まれた当該べた基礎区画の長辺長さ　(m)
	dt	かぶり厚　(cm)
	dx	=t-dt
	dy	=t-dt-1.4
	jx	曲げモーメントに抵抗する底板の応力中心間距離　(m)
	jy	曲げモーメントに抵抗する底板の応力中心間距離　(m)
	ωx	Lx方向の計算に用いる接地圧　(kN/m^2)
	Mx1	端部モーメント（短辺方向）
	Mx2	中央部モーメント（短辺方向）
	My1	端部モーメント（長辺方向）
	My2	中央部モーメント（長辺方向）
	at	底板スラブ1mあたりのスラブ筋の断面積の合計　(mm^2)
	l	最小鉄筋間隔（㎝）
3.6.3地中梁の設計	Lft	主筋鋼材の長期許容引張応力度　(N/mm^2)
	Sft	主筋鋼材の短期許容引張応力度　(N/mm^2)
	Lfs	コンクリートの長期許容せん断応力度　(N/mm^2)
	Sfs	コンクリートの短期許容せん断応力度　(N/mm^2)
	L1	基礎梁上に載る柱間の距離　(cm)
	L2	基礎梁上に載る柱間の距離　(cm)
	ω	接地圧による等分布荷重　=ω2×負担幅　(kN/m)
	ω2	3.6.1で算出した地中梁配筋算定用分布荷重　(kN/m^2)
	b	基礎梁の幅　(cm)
	D	基礎梁のせい　(cm)
	dt	かぶり厚　(cm)
	VT	直上に載る柱に生ずる引き抜き力　(kN)
	d'	=D-dt
	j	曲げモーメントに抵抗する基礎梁の応力中心間距離　(m)
	A	地中梁の有効断面積　(cm^2)
	ML1	長期中央部モーメント　(kN·m)
	ML2	長期梁端部モーメント　(kN·m)
	QL	長期せん断力　(kN)

3.6.3地中梁の設計	QS	短期せん断力　(kN)
	Mt	許容耐力時曲げモーメント　(kN･m)
	Ms	短期曲げモーメント　(kN･m)
	atL	長期曲げモーメントによって生じる断面力に必要な鉄筋断面積(cm^2)
	atS	短期曲げモーメントによって生じる断面力に必要な鉄筋断面積(cm^2)
3.6.4土台の設計	Sfs	土台の材料の短期許容せん断応力度　（kN/mm^2）
	Fs	土台の材料の基準せん断強度　（kN/mm^2）
	Fb	土台の材料の基準曲げ断強度　（kN/mm^2）
	Sfb	土台の材料の短期許容曲げ応力度（kN/mm^2）
	b	土台有効幅
	L1	アンカーボルト間距離　(cm)
	L2	アンカーボルト間距離　(cm)
	VT	土台に生じる引き抜き力　(kN)
	Q	土台に生じるせん断力　(kN)
	M	土台に生じる曲げモーメント　(kN･cm)
	hminQ	せん断力によって生じる断面力に必要な最小土台せい　(cm)
	hminM	曲げモーメントによって生じる断面力に必要な最小土台せい　(cm)
	hmin	最小土台せい　(cm)